

●登場人物と今回の映像

・海賊の首領コッラード	ズベタン・ミハイロフ(T)
コロンのパシャ(太守)セイド	レナート・ブルゾン(Br)
コッラードの若い恋人メドーラ	ミケーラ・ズブルラーティ(S)
太守セイドが愛する女奴隷グルナーラ	アドリアーナ・ダマート(S)
海賊ジョヴァンニ	アルトゥーロ・カウリ(Bs)
セイドの部下セリモ	ジャンルカ・フロリス(Br)
レナート・パルンボ指揮	パルマ王立劇場管弦楽団・合唱団

2004年6月収録

●ストーリー

場所：19世紀初頭、エーゲ海の島、コロンの町

前奏曲

第1幕：エーゲ海に浮かぶ海賊の島

海賊達の勇ましい歌が聞こえてくる。首領のコッラードは、彼等の歌を頼もしく聞いている。彼はふと自らの過去を回想する。恋に破れ世間から見放された彼は、海賊に身をやつしたのである。手下がギリシャの密偵から送られて来た手紙を持ってくる。コッラードは夜になったら出帆すると命令、しかも彼自身が直接指揮を執るというので、海賊達は雄叫びを上げる。

(開幕の合唱とコッラードのシェーナとアリア)

古い塔の部屋、コッラードの恋人メドーラは、ハープを弾きながら恋人を心配して待つ長い日々の辛さを歌にする。

(メドーラのロマンツァ”あの方は未だ戻らない”)

コッラードが現れ、直に出帆することになったと告げる。メドーラはコッラードを必死に引き留めようとするが、コッラードは必ず生きて帰って来ると答える。出帆を告げる大砲が響き、コッラードはメドーラを振り切るように出て行く。

(コッラードとメドーラの二重唱)

第2幕第1場：コロンのパシャセイドの後宮

奴隷女達がグルナーラの美しさを讃えて歌っている。彼女はパシャのセイドから寵愛を受けているがセイドを憎み自由に憧れている。彼女はセイドの催す戦いの前祝に呼び出される。

(女奴隷達の合唱とグルナーラのカヴァティーナ)

第2幕第2場：港

回教徒の兵士達が海賊の襲来に備えている。セイドが現れ皆でアラールの栄光を讃える。

(合唱と賛歌)

一人の奴隷が海賊から逃げて来たという回教徒の修行僧を導いてくる。セイドは敵の様子を聞き出そうとするが、修行僧は牢獄に繋がれていたので何も分からないと答える。

(レチタティーヴォとセイドとコッラードの小二重唱)

突然船火事が起きる。修行僧はコッラードだった。海賊達とセイドの軍勢との間に激しい戦いが巻き起こる。後宮から女達の助けを求める声が聞こえる。コッラードは手下と共に彼女達を助けるがその間にセイド達は形勢を立て直し海賊達を圧倒する。コッラードは捕らえられる。セイドから脅かされてもコッラードは激しく敵意をむき出しにするばかり。彼に助けられた女奴隷達はセイドに慈悲を願う。グルナーラは密かにコッラードを助ける決意をする。

(第2幕のコンチェルタート・フィナーレ)